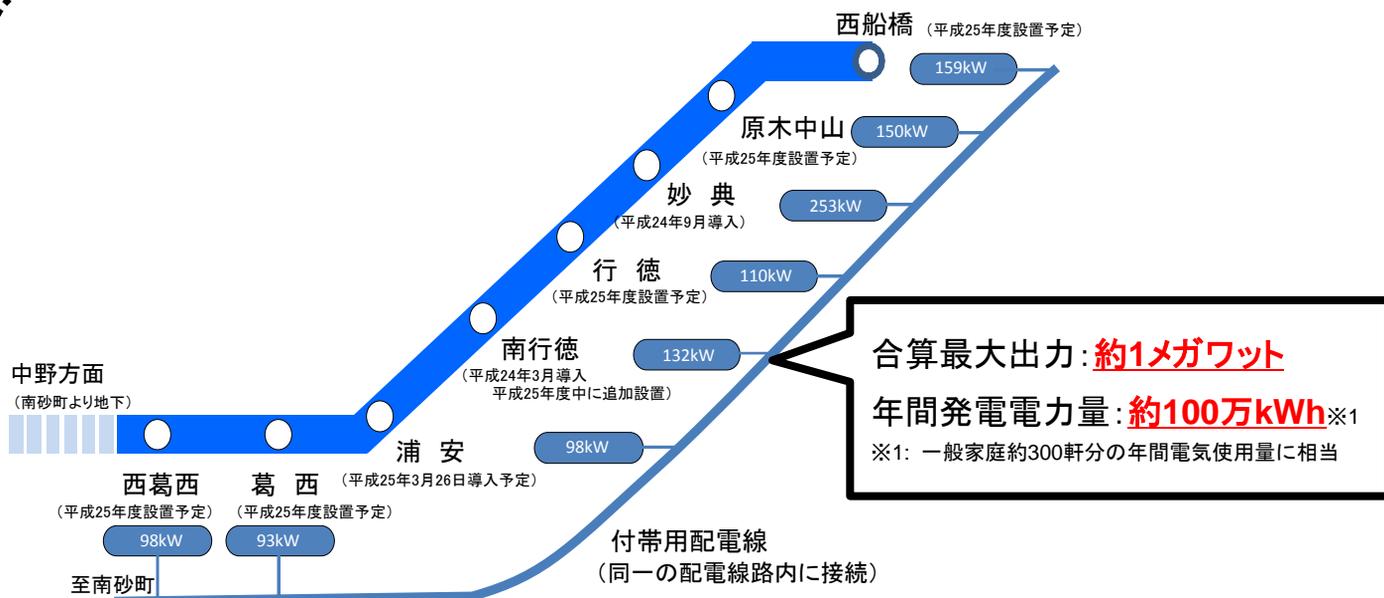


みんなでECO. 「東西線ソーラー発電所」計画

東京メトロ・エコプロジェクト

地上駅全体でメガソーラー規模の発電能力を持つ太陽光発電システムを展開します

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、「みんなでECO. 東京メトロ・エコプロジェクト」の展開として、東西線地上駅での太陽光パネル設置を進めておりますが、このほど発電電力の規模を決定し、**8駅での合算最大出力が約1メガワットとなる、メガソーラー規模の「東西線ソーラー発電所」として展開します。**



発電された電力は、駅のエスカレーター・エレベーター、照明等の付帯電力※2に使用します。また発電量が多い場合、隣接の駅に融通することが可能です。

なお、**年間発電電力量の約100万kWhは、南砂町駅～西船橋駅間で消費される付帯電力の11%※3に相当し、年間463 tのCO₂排出削減（クスノキ約2,500本分）が可能となります。**

※2: 付帯用電力とは、駅などの照明、バリアフリー施設、空調、信号、通信などの電気設備用電力

※3: 平成23年度に南砂町駅～西船橋駅間で使用した付帯用電力量をベースに算出

今回、メガソーラー発電所の建設が困難な都市部において、数少ない地上施設を有効に活用したメガソーラー規模の太陽光発電システムを導入することにより、更なる再生可能エネルギーの利用を進め、環境負荷低減に貢献してまいります。



妙典駅の太陽光発電パネル